

関西学院大学新聞

2021年7月30日 第853号



■発行■

関西学院大学新聞総部
〒662-0891
西宮市上ヶ原一番町 1-155
電話：0798-51-1181
E-mail: info@kgpress.jp
HP: www.kgpress.jp
Twitter: @KG_shinbun
発行人：木村 航太
編集人：林 昂汰
校 関：平田憲太郎

1年遅れの入学式開催

「関学生の自覚ようやく」

関西学院大学の新2年生の入学式が4月3日、西宮上ヶ原キャンパスであった。同大は昨年、新型コロナウイルス感染症拡大の影響で入学式の実施を見送っていた。感染拡大防止のため、入場者は2年生のみに制限した。1日と2日には新1年生の入学式もあった。



演奏を披露する関西学院グリークラブ＝4月3日、関西学院大学西宮上ヶ原キャンパスの総合体育館

大学関係者によると、新2年生やその家族から「入学式をしてほしい」という声が多く寄せられ、開催を決めたという。

舟木副院長は「新2年生一人ひとりの顔を見ながら入学を祝えることをうれしく思う」とし「この入学式はこれまでで最も印象と記憶に残るものになるだろう」と語った。

村田治学長は「残り3年間で打ち込めるものを見付け、全力で取り組んでほしい」と呼び掛けた。

入学式に出席した井上裕麻さん（教育学部2年）は「オンライン授業を受けていて大學生の実感がなかったが、入学式で自分も関学生なのだという自覚が芽生えた」と話した。

式典後、関西学院グリークラブが校歌「空の翼」を含む4曲を演奏し、会場を盛り上げた。同クラブの平見佳久部長（教育学部4年）は「どんな状況であつてもネガティブにならず積極的に行動してほしい」と激励した。商学部2年の男子学生は「グリークラブの演奏を聴いて、学生生活を頑張ろうという気持ちになった」と語った。

式の前には、桜や中央芝生を背景に記念撮影をする学生の姿も多く見られた。

入場できない家族らが式を見られるように、式典の様子をYouTubeで生配信した。（一宮麗果、吉永美咲）

ワクチン接種準備へ

8月中旬めどに

関西学院大学は12日、学生や教職員ら最大3万人を対象とした新型コロナウイルスワクチンの接種が、早くとも8月中旬以降になる見込みだと発表した。対象者には、生協職員や警備員など各キャンパスで働く関係者も含む。

当初は7月中旬から接種を開始する予定だったが、1カ月延期される形となった。

6月に政府へ申請を出していたものの、米モデルナ社製ワクチンの供給見通しが立つておらず、接種許可が下りていないのが延期の理由だという。

広報室によると、日程の変更に伴い、当初ワクチン接種会場に予定していた西宮上ヶ原キャンパスの食堂「BIG PAPA」から会場を変更する

可能性があるという。

ワクチンの打ち手として、兵庫医科大学（西宮市）が協力する。接種は任意で、対象者は後日、大学から接種希望の確認を取る予定。大学関係者は「帰省先で接種する人もいることは想定している。大学で接種するのが都合の良い人は利用してほしい」としている。（吉永美咲）

▼2面「学生は……」

春学期 対面授業はわずか

コロナ下で定まらぬ方針

21日、春学期の授業が終了した。原則として対面での授業が予定されていた春学期だったが、全面的に対面授業が行われたのはわずかな期間のみだった。

4月8日、木曜日。春学期の授業が始まった。昨年度は新型コロナウイルスの影響でオンライン授業が中心だったが、今年度は原則的に対面授業となり、キャンパスには多くの学生が集まった。また、授業時間が90分から100分になって初の授業となった。

授業では、新型コロナウイルス感染拡大防止のため、席の間隔を空けて着席するよう学生に求

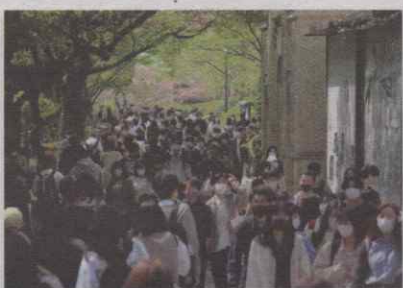
めた。多数の学生が出席した授業では、席の数に足りずに、指定された間隔を詰めて着席する学生の姿もあった。

今年度から授業時間が変わり、経済学部3年の女子学生は「授業の開始時間が10分早まったことに気付かず、遅刻してしまった」と話す。他にも「昼休みが短くなり、帰宅も遅くなるので前の方が良かった」「授業時間が長く集中力が持たないと思う」などの声があった。

その2日後の10日、大学は12日から新型コロナウイルスに対応する活動制限レベルを「レベル3（部分的制限）」から「レベル4（重点的制限）」に引き上げると発表。教室の収容定員を変更するなどの感染対策を強化すると共に、一部の対面授業をオンライン授業に移行させた。全面的に対面授業が行われたのは、8日と9日の2日間だけだった。

大学の関係者は関西学院大学新聞の取材に対し「引き上げは、苦肉の策。春学期が開始して間もない発表で新入生や2年生はとも可哀想だ」と思うが、大学としてはクラスター（感染者集団）を発生させたくはない」とし「春学期が始まって1週間も経たな

いうの発表で、職員である私としても活動制限レベルの変更は急な話だった」と話していた。（柴崎辰徳、林昂汰撮影）



キャンパスに集まった多くの学生＝4月8日、関西学院大学西宮上ヶ原キャンパス、林昂汰撮影

ワクチン接種 学生の声
8月中旬以降の大学でのワクチン接種に向け、学生の声を聞いた。

2面

献血週間 約1年半ぶり
宗教総部は8日、約1年半ぶりに献血週間を開催。昨年は新型コロナウイルスの影響で中止していた。



2面

低用量ピル服用 悩む学生
子宮内膜症やPMSに効果が期待される低用量ピル。服用に当たって、周囲との認識の差に悩む学生がいる。

8面



《紫陽花や昨日の誠今日の嘘》。正岡子規があじさいの色が変化する様子を表現した一句だ。あじさいは梅雨の時期に鮮やかな色で咲く花だが、花言葉は「移り気、冷たい人」。これはあじさいの色に関係がある▼あじさいは土壌の酸性度によって花の色が変化する。そのため、同じ場所に植えていても花の色が変化することがある。あじさいの色の移りやすさが、人の心の移ろいのように見えたから、「移り気」という花言葉が付いたとも言われている▼関学大では今年度から原則的に対面授業を実施する予定だったが、新型コロナウイルスの流行で再びオンライン授業へ移行した。緊急事態宣

言の延長で、授業の形態はお定まらないまだ▼近畿3府県では4月末から緊急事態宣言が出されたが、2度の延長に見舞われた。まん延防止等重点措置は、兵庫県では11日で解除されたが、大阪府では8月22日までの延長が決まった。関学大では、7月中旬から新型コロナウイルスワクチンの接種を始める予定だったが、ワクチンの供給不足で1カ月の延期が決まった▼未知のウイルスに振り回され、刻一刻と移ろい状況が子規のようにあじさいの色の移り変わりに例えてみたくなる▼あじさいの見頃は6月上旬から7月上旬。今年は、近畿では平年より21日も早く梅雨入りし、約2カ月間の長い梅雨となった。1年以上も続いているコロナ禍も、今年の長く続いた梅雨のように、いつの日か明ける日が来ると信じて。

ワクチン接種 学生は……

「接種するメリット
デメリット上回る」

法学部2年の女子学生(20)は、新型コロナウイルスのワクチンを接種する予定だ。大学が自治体の早く受けられる方で接種したいという。「接種しないデメリットよりも、接種するメリットの方が大きい」と話す。具体的には、今後、ワクチンを接種していないと入れない施設が出てくる可能性があることだ。

「情報あふれ不信感
体への影響も心配」

社会学部1年の女子学生(19)は、ワクチン接種券が届いてはいるが、周囲の人がほとんど接種していない今は接種を受けたい予定はない。理由として、ワクチンの身体的影響に対する「不信感」を挙げる。ワクチンに関するニュースも確認するようにしているが「誰もが初めて接種するワクチンなのでその分心配する」と語る。

副反応について過度な心配はしていない。実際に女子学生の祖母がワクチンを接種したところ、ぐったりはしていたが1日寝ると治ったそう。女子学生自身、年齢も若く基礎疾患が無いことも、その心配は無い。また、接種するワクチンについて過度な心配はしていない。実際に女子学生の祖母がワクチンを接種したところ、ぐったりはしていたが1日寝ると治ったそう。女子学生自身、年齢も若く基礎疾患が無いことも、その心配は無い。

献血週間 約1年半ぶり

関西学院大学宗教総部は8日、西宮上ヶ原キャンパスで約1年半ぶりの献血週間を開催した。昨年は新型コロナウイルスの影響で中止していた。会場では感染症対策として、部員がマスクとフェイスシールドを着け、パーティションを置いて参加者を案内した。

参加者は2日間、17人だった。過去には多い時で、1日最大100人ほどの参加者がいたという。献血の参加者が例年より少ない理由として「昨年は実施することができず、後輩に経験させることができなかったが、今回実施できたことで、宗教総部としても大きな一歩を踏み出した」とし「献血に取り組んできた関学の歴史にとっても大きな事実」と話した。

なじみの時計台をデザインに 風景印

甲山を背に建つ時計台。その前には梅の花が咲く学園花通りが延びる。関西学院大学正門前にある関西学院前郵便局の風景印のデザインだ。風景印は、郵便局にゆかりのある風景や名所を描いた消印のことで、神社仏閣の御朱印のような位置付けだ。

2013年まで、関西学院前郵便局の風景印に時計台のデザインはなかった。局名を「西宮上甲東園郵便局」から



風景印を考えた森田良局長＝関西学院前郵便局、吉永美咲撮影

「関西学院前郵便局」に変えるのに合わせて、現局長の森田良さん(56)が風景印に時計台を加えようと動いた。局名を変えたのは、利用者の認識と局名とが一致していないことが多かったからだという。「西宮上甲東園郵便局です」と電話口で言っても「関西学院前郵便局のことだ」と分かってもらえず、初めて来る人もたどり着くのに苦労していた。皆さん「関学正印」という声がある。

森田さんは「関学関係者にとつてなじみのある時計台をデザインに加えて初めて、関西学院前郵便局の風景印として完成したと思う。時計台を入れて良かった」と話す。風景印は、所定の料金の切手を貼ったはがきや封書を窓口で直接持って行って希望するが、郵便局宛てに送ると押してもらえらる。(吉永美咲)

アンネのバラ

色鮮やかに咲く



参加者を案内する実行委員
＝8日午後、関西学院大学西宮上ヶ原キャンパス、林昂汰撮影

関西学院大学西宮上ヶ原キャンパスの文学部校舎そばのバラ園で5月、「アンネの日記」の著者アンネ・フランク(1929～45)ゆかりの「アンネのバラ」が見頃を迎えた。つぼみは深紅で、開花後は黄色、散り際はピンクへと色が移る。

アンネのバラは、ベルギーの園芸家がつくった品種で、アンネの父オットー・フランク氏に贈られた。その後、72年にオットー氏が友情の印として、西宮市の「アンネのバラの教会」に寄贈した。大学のバラ園では、同教会から譲り受けたアンネのバラが育てられている。

大学施設課によると、バラ園は「自然愛好会」という同好会からの要望で開設したという。バラ園は、アンネのバラ以外にも白や紫のバラ、ローズマリーなどが花を咲かせていた。(西村遼)



関西学院前郵便局の風景印。甲山、時計台、梅林が描かれている。



新ポータルサイト「k-wic」開設 8月末から

関西学院大学情報推進機構は、8月23日から新しいポータルサイト「k-wic」を開設する。「欲しい情報がどこで手に入るのか分からない」「学生に情報が確実に届いているのか心配だ」という学生や教職員の不安と手間を減らすのが目的だ。現在提供している教職Webサービスは使えなくなる。

ポータルサイトとは、LUNAや関学メールなど、大学が提供するウェブシステムへアクセスする際の入り口となるサイトのこと。現在、複数の部署が管理、発信しているシステムや情報を一つのサイトに集めることで、サイトをまたぐ情報にもアクセスしやすくなる。「k-wic」では、教職Webサービスとポートフォリオの機能の一部に加え、毎日使うメニューをショートカットとして設定できる。他にはお知らせ内容や利用者の予定をカレンダーに登録できるようにもなる。

情報推進機構の難波恭一課長は「今使ってもらっている教職Webサービスよりも使いやすいと思う」とし「今後学生や教職員の声を取り入れ、改善しながら運用していきたい」と話す。

ポータルサイトの愛称は、昨年10月下旬に学生・教職員から募集。応募総数約500の中から最終案を10個に絞り、投票とプロジェクトチーム内での話し合いにより3月末に決定した。(吉永美咲)



新ポータルサイト「k-wic」のスマートフォンからの画面。トップページからそれぞれのサービスにアクセスすることができ、関西学院大学情報推進機構提供

名古屋場所から幕内復帰

宇良、学長賞受賞

関西学院大学教育学部卒業生で、7月の名古屋場所内で幕内に復帰した宇良が、学長賞を受賞した。学長賞受賞は4人目。

宇良の選出理由について、村田治学長は「けがをしても諦めない粘り強さによって、今場所幕内に復帰し、コロナ下において学生・教職員に勇気を与えてくれた」と称賛の意を示し「今後も頑張って、三役に昇進してほしい」と激励した。

関西学院広報室の発表によると、宇良は「学長賞」を頂き、大褒光栄。頂いた声援を力に変え、一日一番を全力で取り組む」とコメントしている。



宇良＝2016年4月28日、東京都千代田区、広報室提供

大学は「コロナ禍が収まってから、宇良閣を大学に招待して講演会を開きたい」としている。

大学によると、新型コロナウィルス感染防止の観点から式典は開かず、賞状代わりのクリスタルの盾と奨励金は、宇良が所属する木瀬部屋に贈ったという。

学長賞は、輝かしい功績を収めた卒業生に授与しようと

2019年に創設された。これまで、プロ野球阪神の近本光司外野手、陸上男子1000メートル五輪代表の多田修平選手、19年1月にスイスのダボスで開催された世界経済フォーラム年次総会（ダボス会議）で共同議長を務めた特定非営利活動法人「ゼロ・ウェイストアカデミー」の坂野晶さんが受賞している。

（吉永美咲）

「関学アプリ」

在学生の利用53人

関西学院大学は昨年9月から、大学や兵庫県の情報を提供するアプリ「ひょうごe-県民」関学アプリ」を配信している。現在の利用者は約780人で、このうち在学生は53人。大学関係者は「県外から兵庫県へ来た学生にとって特に便利なアプリなので、ぜひ使してほしい」と話す。

アプリは、若者の県外流出を食い止める地域創生プロジェクトの一つとして、兵庫県が関学大と提携して開発した。各学部や同窓会のイベント情報といった大学のニュースが見られる他、県内の観光スポットを検索することもできる。

現在の提携大学は関学大のみ。関西学院の広報室によると、関学大の広報室は、標準金額の30万円を大きく上回る172万円の支援が集まった。

有志の学生
SDGsを身近に考える手帳製作

SDGs（持続可能な開発目標）を身近に感じてもらうべく、関西学院大学の有志の学生らが4月、手帳「今日からできるSDGsダイアリー」を作った。発案者の人間福祉学部3年の原田瑞穂さんは「このダイアリーを使って、社会問題を自分事として捉えて行動してほしい」と話す。

原田さんは1年生の時にSDGsのセミナーに参加した。SDGsバッジを付けている社会人が発した「会社から言われて」という言葉に違和感を持った。表面上の行い

ではなく、自発的に取り組むべき課題だと捉えてほしいという思いが開発の原点にある。

その後、SDGs推進国であるスウェーデンに視察で訪れ「まずは自分のできることから始める」という考え方に感銘を受けた。日常生活の中で目にする機会の多い手帳に着目し「今日からできるSDGsダイアリー」の製作を考えたという。

原田さんは、SDGsを日常生活の中で意識することは少なく、日々の行動につながるににくいのが現状だと話す。

「子供でも理解ができる」「誰でも簡単に取り組める」「常に意識できるよう持ち歩ける」の3点が重要だと考え、月間目標の具体化やデザインにこだわった。

大学のSDGsへの貢献度を測る「TUE大学インパクトランキング2021」で、関学大は日本国内で48番目。

原田さんは「生徒が主体となつて学校側に提案し、学校全体でより良い社会の実現を目指していくことが大切」と話す。

手帳はクラウドファンディングで製作資金を募った。目



手帳発案者の原田瑞穂さん（左下）と開発メンバーら

と、今後は県内の他大学にも広げていく予定だという。

アプリは無料。「Google Play」や「App Store」からダウンロードできる。

（吉永美咲）

村上 一平氏

関西学院理事長に就任
学校法人関西学院の理事長に就任した村上一平氏（76）が、理事長の就任式で4月1日、西宮上ヶ原キャンパスの関西学院会館で、元日清製粉グループ本社社長で前関西学院同窓会長の村上二平氏（76）が理事長に就任した。昨年12月に死去した平松一夫・前理事長の後任で、任期は4月1日から



1年間。村上理事長は「前理事長が」残した仕事の実現に向けて、一歩でも二歩でも進めるのが私の仕事」と決意を示した。

学院は3月26日、理事会を開き、村上氏を新理事長に選んだ。村上氏は就任について「少し緊張や不安はあった」とするも「先人の後を引き継ぎ後任にバトンを渡したい」と意気込んだ。

村上理事長は就任式で「理事長としての役割は、リリーフピッチャーとして抑えること」と話した。また「いかなる場面でも、創立以来あるキリスト教の伝統を欠いてはいけない」とし、キリスト教を重視する考えを示した。

関学生に食料無償配布 繋がり隊

新型コロナウイルスの影響で経済的に苦しむ学生を支援しようと、関西学院大学の寮生からなる「学生応援プロジェクト『繋がり隊』」などは15日、西宮上ヶ原キャンパスの関西学院会館で食料などを無償配布した。当日は487人が参加し、配布品を受け取った。

この取り組みは、昨年10月に続いて2回目。主催は前回から引き続き「繋がり隊」と生活協同組合コープこうべ、今回から関西学院同窓会西宮支部も加わった。

今回用意されたのは、無洗米2kgや水、袋麺、レトルトカレー、サバやイワシの缶詰などの保存食品600食分とハンドジェル。正午の開始と同時に学生が続々と会場に集まった。

配布品を受け取った法学部1年の木谷智哉さん（19）は「コロナの影響でアルバイトの面接が2週間先送りになっていて、一人暮らしなので、食料の配布は本当に助かる」と話した。この取り組みをインターネットで知った社会学部3年の仲田純麗さん（21）は「実家暮らしだが、親のために食材をもらった。得しか

ないのでもた参加したい」と笑顔を見せた。

繋がり隊の文学部4年の鳥山恵輔さん（21）は、活動を通じて大学の同窓会などを通じて「この取り組みが、学生の悩みを大人が拾うきっかけとなつてほしい」と話す。また「このような支援活動は、定期的に開催していくことが大切だ」と2回目の開催となった経緯を説明した。繋がり隊は参加した学生に生活環境に関するアンケートを実施し、継続的な学生支援への意欲を見せた。（小林彩乃）



配布品を受け取る学生12日、西宮上ヶ原キャンパスの関西学院会館、柴崎辰徳撮影



学校法人

兵庫県自動車学校

普通車・準中型

TEL:0798-67-2200

兵庫県自動車学校

関学生協サービスカウンターにてお申込み下さい。




村上市氏は、大阪府出身で、1967年に関西学院大学経済学部を卒業した。卒業後、日清製粉グループ本社社長な

とを経て、2015年から18年まで関西学院同窓会会長、16年から法人理事を務めた。

（柴崎辰徳）

（大藪巨翔）

タイムスリッパ

シブヤ代表取締役

渋谷梨絵さん
(総合政策学部卒)

「産地・品種・農家」
関西学院大学卒業生で、米や雑穀の卸・小売販売や商品開発などを手掛けるシブヤの代表を務める渋谷梨絵さん(43)が、農家との取引で大切にしているモットーだ。取引先の農家の生活を守るため、たとえある同じ地域の他の農家が会社で米を持ち込んで来ても断っているという。

以上、多い日は一日に15カ所以上訪ねたこともある。関東の短期大学から総合政策学部編入。当初は都市整備に関心があったが、徐々にパソコンシステムや情報技術(IT)活用分野が楽しく思えてきた。大学で一番の思い出は、たまたま活動で、授業はもうろく、仲間とのゼミ旅行も楽しんだ。

卒業後は、現在のソフトバンクにシステムエンジニア(SE)として就職し、新規プロジェクトに関わった。24時間近く働く日もあり、苦し

最初に苦労の連続だった。東京都内の百貨店内にある店で働き始めたが「経験が浅いため、商品を運ぶお客さんに声を掛けられてもお米についてきくと答えられなかった」と当時を振り返る。

「米屋の人間として、お米に関するお客さんからの質問に答えることが、お米の心臓を握る。流通が滞り、関東で米が不足する」という情報が流れ、人々が取り合うように米を買い求める光景を何度も目にした。「米屋をやられている」という意識から「日本人の主食であり、日本人の心の奥底に常にある

にきちんと答えない」。まず、米の目利きの力を付けるため「五ツ星お米マイスター」の資格を取り、客から甘酒や塩こうじなどの発酵食について問い合わせがあれば「発酵食スペシャリスト」の資格を取るなど、あらゆる穀物についての知識を身に付けていった。

2011年に起きた東日本大震災が、それまでの渋谷さんの心境を変えた。流通が滞り、関東で米が不足する」という情報が流れ、人々が取り合うように米を買い求める光景を何度も目にした。「米屋をやられている」という意識から「日本人の主食であり、日本人の心の奥底に常にある

教授の背中

「本当の勉強」学生と

「スマートで、おしゃれで格好いい。関西で進学するならここしかない」。関西学院大学法学部に入学した。大学ではアメリカンフットボール部に所属した。4年生の夏の大会で米国の大学とチームを組んだ。練習を共に重ねる中で「弁護士になるために4年間勉強する」「これから6年間メカニカルスクールに通う」と話す同僚の米国人学生に衝撃を受けた。「自分たちはもう大学を卒業する」というのに、彼らは「今から本格的に勉強だ」と言う。これでは勝てん」と差を痛感した。

たん文具メーカーに就職し、1997年には同大学の商学研究科に入学。仕事を続けながら、夜は大学でマーケティングの理論を学んだ。「理論と実務を行ったり来たりしていた。理論を学びながら、それを職場で応用することで新しい発見にもつながった」

2012年から経済学部13年から総合政策学部でマーケティング論を学生に説いている。講義では、ゲスト講師を呼んだりケーススタディをしたりすることで学生が関心を持つように工夫しているという。「リアルな現場がどう仕事しているのか知ってもらおう。そこで理論と照らし合わせ学んでいく」と話す。



HoLC 向井 光太郎 准教授

今年からハンズオン・ラーニングセンター(HoLC)の准教授になった。大阪・上本町などをフィールドに学生

それぞれが課題を見いだし研究する。「自分に問い掛けながら考え抜いていく。価値観の矛盾なんかも出てくると思う。それを大切に受け止めて一緒に考え続けていきたい」

「(学生は)自分たちが主役なんだ」という意識を持って、新しいことをしていかなあかん。そう思うために自分たちがちゃんとせなあかんという気持ちだ」という。学生と深い関わりを持ち研究を進めていく。(林 卓)

日進月歩

不正薬物への意識見直しを

昨年大麻で検挙された大学生は全国で219人となり、5年前の約5倍。国内の薬物乱用検挙数は減少しているが、大学生の大麻関連の検挙者が増加している。

東京府世田谷区の路上で6月11日、関西学院大学の学生(18)が大麻を所持していたとて現行犯逮捕された。大麻などの薬物は心身に多大な影響を与えるため、法律でも厳しく規制されている。関大生が大麻の所持に至った経緯や原因を究明し、再びこ

のような事件を起こさせてはいけない。

2008年、関学では元学生(後に自主退学)や教職員らによる複数の薬物所持事件が起きた。事件を受け、翌年、関西の4大学(関大、関学、同志社大、立命館大)は薬物乱用防止に関する共同声明を発表した。

4大学は声明内の活動の一環として、毎年新生入生に対して、薬物に関する意識調査を実施している。調査の結果を見ると、学生の薬物に対する

認識の変化や課題が浮かび上がる。

まずはインターネットに掲載される薬物に関する情報の多さである。20年度の調査によると、薬物を入手可能と回答した人のうち、入手可能だと考えた理由として「インターネット上で薬物を見たこと」が最も多く、15年度の割合は5.3%と、15年度の3.4%から約1.5倍に増加した。

他にも薬物を使う人が増えている理由として「インターネットなどに薬物を使ってみたいと思わせるような情報が載っているから」と回答した人の割合も増加している。

また、薬物に関する相談窓口の認知度を高めることも課題だ。薬物に関する相談窓口を知っているかという問いについて、半分以上が「知らない」と回答した。「知らない」と回答する割合は減少しつつあるが、認知度は十分ではない。相談窓口は、薬物によって道を踏み外しそうな時に助けになってくれる存在である。今後その役割を認識し、相談窓口に掲げる保健館などの機関や団体は周知活動を進めていく必要がある。



シブヤ代表取締役で五ツ星お米マイスターの資格を持つ渋谷梨絵さん本人提供

ただ、法学部の山田和泉経理部長(20)によると「学生連盟本部の預金通帳には774円しかなく、資金不足に悩まされている」という。役員が備品を買う際、学生課に領収書を提出して代金を請求する。2、3カ月後に支給されるが、立て替えざるを得ない状況で、昨年度は約

10万円立て替えた部員もいたという。山田経理部長は「助成金を多くもらっている率下団体から、少額ずつ集金して年度末に返金するなどの対応を考えている」と話す。

所属9団体の部員であれば誰でも本部役員になることができ、随時新入部員を募集している。(一宮 麗果)

部室だより

関西学院大学 学生連盟本部

関西学院大学学生連盟本部が4月から新体制で始動した。今年度のスローガンは「輪」で、各部活のつながりをもつと強固なものにするという意味が込められている。学生連盟は、学生のための活動を行う自治組織で「体育会」「新聞総部」「文化総部」「宗教総部」「応援団総部」「大学祭総部」「総務放送局」「神学部学生会」「法学部学生会自治会」の9つの団体で構成されている。9団体の代表者が主に役員となり、活動している。国際学部4年の矢野涼太郎(22)は「今年はコロナ禍を言い訳にせず、本部役員同士、加盟団体同士の『横の



学生連盟公認のマスコットキャラクター「ソラン」

安田 花さん (国際学部3年) 「性教育に明かりを」

この学生に
注目!
チューモク

「学校では教えてくれない性教育」をテーマに投稿を続けている。

「女性同士でも生理の話のためらう場面が多くある」と語る安田さん。「自分の体のことなのに」と性の会話が閉鎖的な現状に不安を感じたという。実生活で直面した現実「同世代の人たちに正しい性知識を発信することで、性の会話をよりオープンなものにできるのでは」とアカウントの開設を決めた。

安田さんは、海外大学の入学資格が得られる教育プログラム「国際バカロレア(IB)」の国内認定高校出身。そこで安田さんが問題点として挙げたのは「プログラム内での性教育の不十分さ」だ。「IBでは『性教育』という枠組みの授業はなかった。周りの女子生徒との性知識のギャップに驚くこともあった」と当時

を振り返り、自身の受けてきた性教育の未熟さを痛感した。

今年7月、小学校教員を務める母親の影響もあり、関学のIB教員養成プログラムを修了し「英語B」のIB教員資格を取得した。日本で教壇に立つには、IB教員資格に加え通常の教員免許も必要。安田さんは教員免許も取る予定だ。

自身の高校時代の経験も生かすため、授業にも性教育の要素を取り入れたいと話す。

「IB学習の枠組みは決められているが、授業内で触れる教材については基本自由。英語の授業内でもジェンダーについての教材を扱っていても面白いかもしれない」と抱負を述べた。

アカウントの今後について安田さんは「専門家との対談など、読者に興味と説得力を与えられるコンテンツにしたい」とし「投稿を見てくれた方々が、性について話し合えるきっかけの場になれば」と笑みを浮かべた。(木村航太)



博物館展示「バリ伝統衣装」

体を使って感じ取る

「姿勢を整えたり、場に合った服装をしたり。言葉で発する前のコミュニケーションが話しやすい雰囲気を作る」。5月31日から関西学院大学博物館(西宮上ヶ原キャンパス時計台階)で、インドネシア・バリの服飾文化を紹介する展覧会「バリ 布の万華鏡―布が伝える美のこころ―」が始まった武居郁子さん。展示している衣類は、バリで20年間暮らし、現地の人と対話を重ねる中で、譲り受けたものだ。

武居さんは1999年に外国人で初めて、インドネシアの国家資格「婚礼衣装美容着付師」を取得した。バリの婚礼衣装は、インドネシアの神々を色で表現した色彩豊かな長方形の布の組み合わせで、体に巻き付けて着る。婚礼衣装の布は、先祖から代々受け継がれており、今回の展示品の中には約90年間使われた布もある。

武居さんは、インドネシアへ移住した当初「バリ語で会話ができず、失語症のよう



だった。教科書通りのことなんて無かった」と苦悩していた。「日々(自分の体で)現地の人と接することになじんでいった」と振り返る。

帰国後の生活で、日本は便利すぎると感じた。「手仕事や織物といった伝統よりもSNS(ソーシャル・ネットワーキング・サービス)で『見える』見た目が優先されている。感覚がデジタル化して、自分の体を使っていない」

今回の展覧会では武居さんによるガイドは実施せず、展示物の説明やパネルの情報をあえて少なくした。「五感を使うのが人間。来訪者が『感じる』ことを大切にしてほしい」と目を細めた。

展覧会は8月6日まで。新型コロナウイルス感染症対策のため、入館は関学大の学生と教職員に限定している。入館料は無料。(西村遼)

おすすめのお店探し隊! Vol. 29 「ハングリーウィッチ」

関西学院大学西宮上ヶ原キャンパスそばで、1987年から店を構える中華料理店「ハングリーウィッチ」。関学生や卒業生を中心ににぎわう店だ。

メニューのほとんどが手作り。人気の「焼肉セット」の焼肉はたれから作っているという。千切りのキャベツにスパゲティサラダ、日替わりの付け合わせが付いて豊富な栄養素が取れる。口伝で伝

「大学時代に何をすべきか」

池上彰さん講演

ジャーナリストの池上彰さん(70)が5月10日、関西学院大学神戸三田キャンパスで「大学時代に何をすべきか」をテーマに講演した。対面で約240人、オンラインで約400人の学生が参加した。

今回の講演は、同キャンパスの理系4学部(理学部、工学部、生命環境学部、建築学部)の再編を記念したイベント。

池上さんは、大学時代に教養を身に付けるべきだとし「今まで学んできたことを使えるかが重要と話した。『知識や常識の運用力』が、うその



講演を行う池上彰さん=5月10日、関西学院大学神戸三田キャンパス

情報がどうかを見極める力になる」と学生に説いた。外出自粛によって自由な時間が減ったことにも触れ「コロナ下を新しいことを生み出す『創造的休暇』として過ごしてほしい」と促した。「学生運動によって入学後すぐに授業を受けられなかった。

(西村遼、吉原未来)

わたった裏メニューもあるそう。店主の妻、神一代さん(63)は「原価率が高いから手作りが一番。お腹いっぱいになってくれれば」と話す。利用客は学生も多いが、元々は学生の客を見越していた訳ではなかった。上ヶ原に出店したのは「子供も見ながらお店できるのはこしかなかった」からで「たまたま大学があつて、学生がよく来るようになった」という。

店主の重幸さん(64)によると、学生からは「(自分が)卒業してから値上げして」と言われるそう。30年以上営業しているため、卒業生が来ることも多い。キャンパスで結婚式を開き、その後お店に立ち寄る卒業生もいる。学生の変化も感じるといふ。昔は下宿生が多かったが、今ではフルタイムのアルバイト



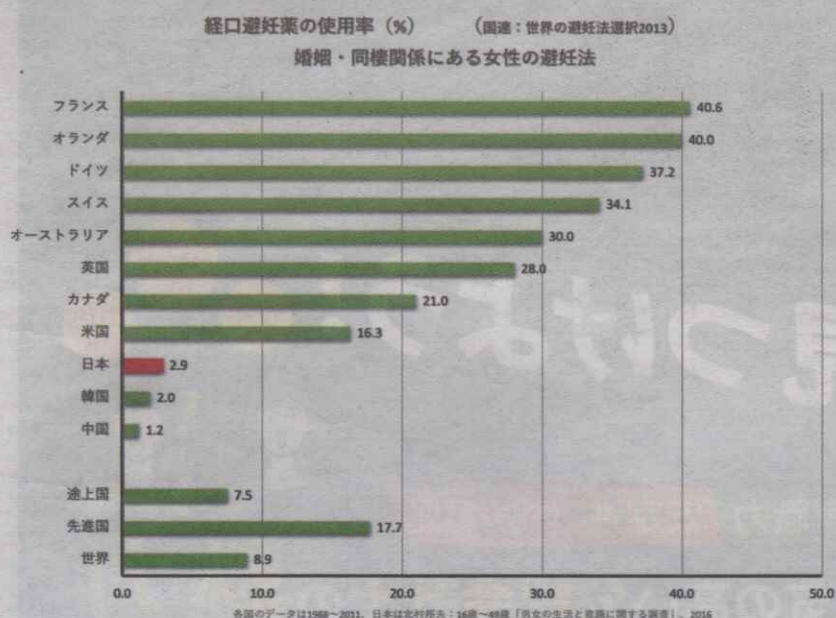
店主の神夫妻(右)と人気メニューの「焼肉セット」(左) 林昂汰、平田憲太郎撮影

新月祭 2021開催

神戸市営住宅・兵庫県営住宅ほか
電気設備保全会社 畑中電気合同会社
〒653-0834
兵庫県神戸市長田区川西通り5丁目107番地の8

「親や友達に言えない……」

大学生の低用量ピル服用の現状



日本では、ピルは産婦人科の医療機関で処方される薬だ。国際学部21年度卒の女子学生(22)は「初めは産婦人科へ行くことに抵抗があった」と振り返る。

大学在学中に子宮内膜症になり、産婦人科を受診した。医者から治療としてピルの服用を提案されたが、「副作用が気になり怖かったという。父親にも「薬に頼っては駄目だ」と他の病院へ行くことを勧められた。

産婦人科へ行くことに抵抗

避妊や月経前症候群(PMS)に効果が期待できる低用量経口避妊薬(低用量ピル)。日本では1973年に導入されたが、使用率は2016年時点で2.9%と、他国に比べて低い。日本では認知度が低く、PMSの症状緩和のための服用に対する知識の差や偏見に悩まされてきた学生がいる。

親と話し合い、治療のためにと最終的には服用を決めた。副作用は多少あったが1カ月ほどで収まり、今では服用して良かった。ピルのイメージが変わった」と笑顔で話す。

日本家族計画協会が12年に実施した「第6回男女の生活と意識に関する調査」によると、ピルを服用しない理由で最も多かったのは「副作用が心配」。次に多いのが「今までの避妊法で十分」だった。

認知の壁

親に言わず服用も

周囲の人には「ピルを服用していることを」なかなか言えない」と国際学部4年の女子学生(21)は話す。

高校生の頃から生理不順に悩み、大学2年の時に子宮内膜症になり産婦人科を受診した。漢方を処方されたが、効果はなかった。その後、留学先のドイツで周囲の女性の多くがピルを服用していたことでピルの存在を知った。帰国後にすぐに産婦人科へ行き、処方してもらったという。

ドイツでは、ある程度の年齢になると親が子供にピルを飲ませるのが当たり前だと聞いて驚いたという。薬局にピルが売っていて気軽に買っ

「親はそもそも、生理痛がひどいから薬を飲むという発想がない」

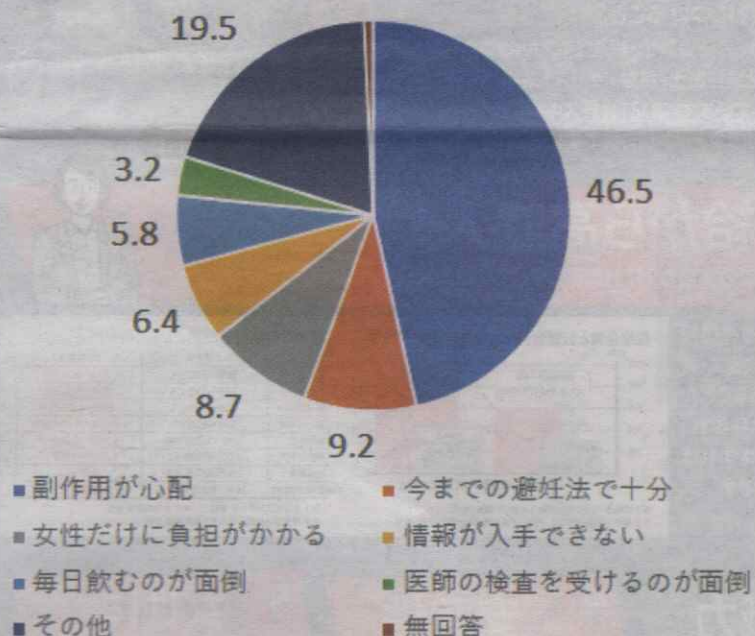
とができることも日本と違う点だと話す。

彼女は、服用したことを親には言っていない。「理解されないと思う。親はそもそも、生理痛がひどいから薬を飲むという発想がない」と話す。

友人に言うことや、人前でピルを飲むこともためらうという。「認知度が低く、避妊のためだと思われるのも嫌だ」というのが理由だ。

「今では生理の周期も安定してピルを手放せない。もつと多くの人にピルの効果を知ってもらい、日本でも気軽に手に入れられるようになれば」と話した。

低用量ピルを使わない理由 (%)



出典：一般社団法人 日本家族計画協会

「男女の生活と意識に関する調査報告書 第6回」

「男女の生活と意識に関する調査報告書 第8回」

関学神戸三田キャンパスから一番近い教習所

● 取得できる車種 ●

大型車・中型車・準中型車・普通車(AT/MT)・
大型二輪車(AT/MT)・普通二輪車(AT/MT)

お申込みは、大学生協サービスカウンターにて受付できます。

SANDA AUTOMOBIL SCHOOL
SAS
SINCE 1963

兵庫県公安委員会指定

三田自動車学院

三田市志手原1147-1 TEL:079-562-2995
E-mail:sas.1963@poppy.ocn.ne.jp HP:www.sas-menkyokaiden.com



三田自動車学院携帯用HP QRコード

